

平成31年4月1日施行
北海道士別市

士別市 健康長寿 推進条例

概要版



条例前文

近年、社会環境の改善や医療技術の進歩により平均寿命が延びるなか、生涯にわたり明るく元気に生きがいを持って生活していくためには、何よりも健康であることが重要です。

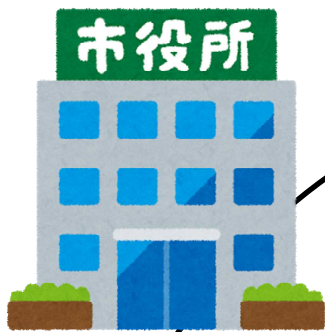
急速な高齢化や生活習慣の変化により、全国的にがん・心疾患・糖尿病などの生活習慣病になる人や介護を必要とする人が増加するなか、士別市では「健康・スポーツ都市宣言」のもと、スポーツを通じた健康づくりのため「市民皆スポーツ」を推進しているほか、「士別市健康長寿推進計画」を策定し、住み慣れた地域でいつまでも健康で充実した生活ができるよう、健康寿命の延伸をめざした取り組みを進めています。

健康寿命の延伸には、市民一人ひとりが、自身の健康状態を正しく理解し、主体的に健康づくりに取り組むとともに、市・市民・事業者・教育機関・関係団体がそれぞれの責務や役割を担いつつ健康づくりの活動を推進していくことが必要です。

そこで、すべての市民が健康で心豊かに暮らせる地域社会の実現をめざし、市全体で健康長寿の取り組みを推進していくため、この条例を制定します。

士別市健康長寿推進条例の概要

市の責務とそれぞれの役割を示したものです。お互いの連携、協力のもと健康づくり活動を推進していきましょう。



市の責務

- ・「士別市健康長寿推進計画」を策定し、健康づくりの推進に関する総合的な施策を実施します



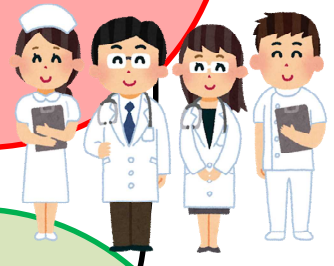
市民の役割

- ・健康づくりに関心を持ち、積極的に健康診断等を受け、自分の健康状態を把握します
- ・健康づくり活動に積極的に参加します



事業者の役割

- ・従業員の健康に配慮し、休暇の取得や健康診断の受診率の向上に努めます
- ・職場での受動喫煙の防止に取り組みます



教育機関の役割

- ・保有する設備や管理する施設の提供に協力します
- ・子どもたちに対し健康教育及び健康管理を行い、健康づくりの推進に努めます



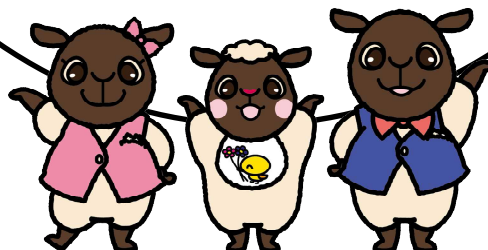
関係団体の役割

- ・活動を通じて、交流・親交を深め「人とのつながり」による健康づくりを推進します
- ・健康づくり活動への協力に努めます



協働による

健康づくりの推進！

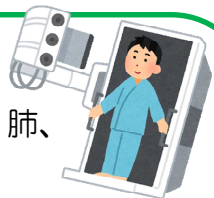


市が取り組む健康づくりの施策

市では、市民の皆さまの健康づくりを推進するべく様々な施策に取り組んで参ります。市民の皆さまには積極的な参加をお願いします。



がん予防



- 35歳以上の市民を対象に胃、肺、大腸がん検診を実施します
- 20歳以上の市民を対象に子宮頸がん検診、40歳以上の市民を対象に乳がん検診を実施します
- 乳がん、子宮頸がん検診について隔年で検診料金の助成を行います
- 広報紙や健康教室を活用し、がんに関する正しい知識の普及啓発を行います



食習慣の確立と改善

- 乳幼児から高齢者までそれぞれのライフステージに合わせた健全な食生活を実践するための支援を行います
- 若い世代への食育を推進します
- 野菜を中心としたレシピの情報提供を行います



保健指導、健康診査、疾病対策



- 40歳から74歳までの国保加入者を対象に特定健診又は人間ドックを実施します
- 75歳以上の市民を対象に後期高齢者健康診査を実施します
- 健診機会の無い30歳から39歳の市民を対象に若年者健診を実施します
- 健診結果をもとに保健師や管理栄養士が保健指導や食事指導を行います

受動喫煙の防止



- 「士別市受動喫煙防止条例」を制定し、公共空間における受動喫煙の防止に努めます
- 喫煙及び受動喫煙が及ぼす健康への悪影響について啓発を行います

運動習慣の確立と改善



- 市民参加型のスポーツイベントを開催します
- 総合体育館、スキー場、陸上競技場、パークゴルフ場などスポーツ施設の整備を図ります
- 介護予防事業（サフォークジム・サフォーク元気クラブ）の充実を図ります
- 学校体育施設を学校に支障のない範囲で積極的に開放します



心の健康づくり 自殺予防対策



- ゲートキーパーの増員を図ります
- 市の各部局及び関係団体が連携して支援を行える体制作りをします
- それぞれの悩みに応じた相談窓口の充実を図ります

感染症対策



- 13歳未満の子ども及び65歳以上の高齢者を対象にインフルエンザワクチンの助成を行います
- 適切な予防接種が受けられるよう保健師がアドバイスします

人と人とのつながりづくり



- 一人暮らしの高齢者などが地域の中で孤立しないよう、自治会と連携して見回りや声かけを行います。
- 地域交流の場として、サロン事業の充実を図ります

歯と口腔の健康づくり



- 80歳になっても20本の自分の歯を残す8020運動を推進します。
- 40歳、50歳、60歳の方を対象に歯周病検診を行います。

